

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 7 (2025) 年 9 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

情報は戦いの命運を握る鍵である

長谷川 秀

熊本赤十字病院 診療部長 脳神経外傷外科部長
病院経営管理士
基礎課程小委員会 委員

診療情報管理士の皆さんが日々取り扱う「診療情報」は、単なる記録やデータの集積ではありません。それは、患者さんの命と健康を守るための重要な情報であり、医療の質と安全性を支える基盤です。診療情報の正確な管理と活用は、医療現場の円滑な運営を支えるだけでなく、経営改善、さらには医療政策の立案や研究にも貢献する、極めて重要な役割を果たしています。このような責任ある業務に携わる皆さんには、高い倫理観と専門性が求められます。

「情報は戦いの命運を握る鍵である」——これは今も昔も私たちにとっても変わらぬ真実です。皆さんは、「桶狭間の戦い」をご存じだと思います。当時、織田信長は大軍を率いる今川義元の本陣を突き止め、わずかな兵力で奇跡的な勝利を収めました。この勝利を可能にしたのは、緻密な作戦だけでなく、迅速かつ正確な情報でした。信長は、義元的首を取った武将でなく、義元がいる本陣の正確な位置をいち早く掴んだ武将を「第1の勲功」とした逸話は、情報の持つ力を鮮明に物語っています。また、武田信玄は「透波(すっぱ)」、上杉謙信は「軒猿(のきぎる)」という忍者を使い、敵の情報を収集して戦略を練ったと伝えられています。情報を制する者が、戦を制したのです。

織田信長の逸話が示すように、情報を制する者が、未来への道を切り拓くのです。現代の医療現場もまた、情報戦の最前線です。AIやICTの導入、個人情報保護の強化、医療DXの推進など、医療を取り巻く環境は日々変化しています。医療の高度化・複雑化が進む中で、正確な情報をもとに判断を下すことが、最適な医療の提供や経営改善につながります。特に、医療の在り方が変化する中で、診療情報管理士としての役割も拡大しつつあります。診療情報管理士の皆さんは、医療の現場における「情報の専門家」として、医師や看護師、薬剤師など他の医療職と連携しながら、医療の質を支える重要な役割を担っています。

医療技術や情報管理の進化に対応し、常に学び続ける姿勢が不可欠です。これらの変化に柔軟に対応しながら、確かな知識と判断力をもって業務にあたる皆さんの姿勢こそが、未来の医療を形づくる力となると思います。皆さんの専門性と情熱がこれからの医療を支える大きな力となることを信じてやみません。「私たちが病院の命運を握っている」、そう自負して頑張ってください。